



AOMORI · IWATE · MIYAGI · AKITA · YAMAGATA · FUKUSHIMA

第23号

発行所
東北地区屋外広告美術業組合連合会
情報文化委員会
事務局 仙台市宮城野区原町三丁目4番地10号
TEL 022-257-0437

年頭のご挨拶

東北地区屋外広告美術業組合連合会 会長 大戸 邦男

(福島県 株クリエイティブダイワ)



二〇一二年の年頭にあたり、昨年の皆様のご協力に深く感謝申し上げますとともに、今年も皆様にとつて希望に満ちた良い年になりますよう衷心よりご祈念致します。

そして、東日本大震災と原発事故、新潟・会津豪雨など未曾有の大災害に見舞われた二十三年が幕を下ろし、新たな年が明けました。地震と津波で多くの尊い命、財産を失い、被害を受けられました皆様には、この場をお借りして謹んでお見舞い申し上げます。

昨年三月の当連合会の総会を挙行すべく準備万端、開催する矢先に三月十一日の東日本大震災に見舞われ、不安な中、前会長の村窪宮城組合理事長の後任として会長の職に就いて、早一年が過ぎようとしており、私個人にとつても、本当に言葉では言い表せない年になりました。そのような中、役員・会員の方々は、支えていただきましたことに改めて御礼申し上げます。

さらに、今回は、委員会規約の改正により情報文化委員会から啓発委員会が担当となり、係った方々には、復旧・復興のため行動すべきところ、また厳しい予算の中、無事刷り上げることができましたことに重ねて御礼申し上げます。

現在も余震が続く、この大震災が起こってから、多方面の学者の方々あるいは地域の歴史家としてその土地の言い伝えなどがマスコミ等で報道されておりますが、あまりにも突然でなす術もない状態です。その上、福島県にあつては世界に数少ない原発事故が発生。日本が世界に誇る技術神話もろくも崩れ、原発周辺の住民は放射能流出なる恐怖と不安の生活に追いやられました。それに加えての風評被害は、農業・漁業をはじめ食品製造業、観光関連業界等あらゆる産業で想像以上のものがあります。

当面、我慢の日々が続くと思われまふ。日本は、今までの経験から、被害地の復旧現場・生活現場・生産現場等での秩序・互助・対策・実行の水準の高さは諸外国の驚きとなつております。まさに協業・協同によつて復興局面ではすべからざる力を発揮しております。目標が定められればお互いの配慮と幅広い分業が協働効果をもたらし、これまでも、戦災・災害後のすばらしい再建の速さで世界を驚かせて来ました。防災システムや建物の耐震設計を称賛する声と第二次世界大戦から立ち直つた復興意識や規律の正しさを特筆する記事、また、パニックも暴動も起こさず、略奪もなく、静かに二列で満員電車待つ人々の姿は我々にとつては当たり前前の光景ですが、これこそが世界に誇れる「日本そして日本人の絆と底力」であると確信しております。

今回の大震災で被災した個人や中小企業を支援する為、スローペースではあるが、国においては様々な金融対策や雇用対策さらには激甚災害に対する補助金制度などが進められております。また今回の地震は「揺れる国日本」という姿ではなく、災害を受け止め跳ね返す日本の力を示し、日本の強力な中身を世界に発信できるチャンスだとある文化人は言っていました。

東北がそしてそれぞれの地域・ふるさとが再生・復興するためには、国に訴えつつ、これらの国の対策をどんどん利用し、当連合会においても会員全員が一丸となれば、地震・津波の自然災害と原発の事故、風評被害の人的災害にも打ち克つていくと信じております。

大震災と会長挨拶依頼を機に、今までに発行された機関紙を拝読させていただき、改めてその年代の動き・状況そして特にそれぞれの方々の経験の記事には、沢山の教えや学ぶことが掲載されており、特に人と人との和の大切さ、顔なじみは多いほど良いこと、ひとりでも多くの体験談を聞くことが重要であること、それがいつ役立つかわからないものであつても知っておくこと等々無料で知識をいただくことができました。そして、自然の恐ろしさを経験し、人として自然と共存していくために日々、創りあげてきた知識・能力・技能・技術は磨き続け、絶対に無くしてはならないこと。また、屋外広告を営む者としても文明の利器・道具にばかり頼ることなく、当連合会設立当時の東北六県の方々の思いや会社起業時の考え、具体的な「例え」としては、極端・幼稚ではあるが、頭の片隅に子供のころ落ちていた棒・石で文字・絵を描いた楽しい思い出など初心を置いておき、忘れないことが必要であると思つておりました。

最後に、歴代の会長をはじめ役員の方々はもろろのこのと、会員の皆様方の長年にわたる地道な活動に敬意を表し、創立当初から脈々と受け継がれているその志や熱意を忘れることなく、時代に合わせるものは合わせ、変えてはならないものは維持し、後世に正確に引き継いでいかなければならぬと思ひます。そして、企業経営には足元をしっかりと見据え、東北人ならではの新しい発想のもと、中小企業の持ち味である旺盛なチャレンジ精神と創造性そして柔軟性を発揮することが必要であります。

これを忘れず、より一層、当連合会活動に邁進し、地域経済に貢献して参るためにおひとりおひとりの力が大切であり、皆様方の活力が不可欠ですので、今後とも御指導・ご鞭撻、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

看板材料販売

- ・屋内外シート
- ・各種樹脂板
- ・アルミ複合板
- ・FF用電照式フレーム
- ・溶剤、水性メディア

加工サービス

- ・大判インクジェット出力
- ・5M幅ターポリン出力
- ・FFシート出力
- ・のぼり・懸垂幕
- ・シルクスクリーン製作、印刷
- ・アクリルレーザー加工
- ・彫刻制作
- ・成型品加工
- ・工業部品加工

各県発送 承ります!!

お気軽にご相談下さい

株式会社 クラフト Art Supply
山形市東原町二丁目20-16
TEL(023)632-2435 FAX(023)632-2438
[E-mail] shop@craft-art.co.jp
[HP] http://www.craft-art.co.jp

Heartfull Message from Rifrein

美しいものをリフレイン

外壁や内装など、さまざまな商業空間を演出するリフレインの技術。美しいものを今日から明日へ、明日から未来へ。時代のニーズをキャッチしながら、美しいものをくり返すことこそ、私たちリフレインの使命です。

リフレインがお届けする **4つのサービス**

- 看板材料販売**
 - マーキングフィルム
 - ガラス用フィルム
 - インクジェットメディア
 - 看板用資材
 - 看板ディスプレイ用電材
- 出力関連機器販売**
 - インクジェットプリンタ
 - カッティングプロッター
 - ラミネーター
 - 各種PC
- 出力サービス**
 - 一般…塩ビ、ターポリン、電飾
 - 布製品…防災認定取得
 - 壁紙…F☆☆☆☆取得
 - ウインドフィルム…白出力可能
- 電材**
 - 屋外用サイン広告照明
 - サイン用LED投光器
 - LEDモジュール
 - 蛍光ランプ型LED
 - インバーター蛍光灯

【社名の由来】「快汗感涙」
リフレインは、そもそも反復句を意味。正しくは「refrain」と綴りますが、読み間違いをなくすために「rifrein」とし、「美しいものをくり返したい」という思いを凝縮させました。
ロゴマークは「汗」をシンボリックに描き、お客様のために尽くそうという願いを形にしました。

Rifrein Art Supply
株式会社 リフレイン
〒984-0001 宮城県仙台市若林区鶴代町4-27
TEL 022-237-3271 FAX 022-237-3273
e-mail: printing@rifrein.co.jp

Mitsubishi 3M Scotchcal Graphic Film

第34回 東北6県公共キャンペーン作品展

第三十四回東北六県公共キャンペーン作品展審査講評

審査委員長 聖霊女子短期大学 教授 横山 智也 先生
(社)秋田県芸術文化協会 副会長 青木 隆吉 先生

《講評》

(社)秋田県芸術文化協会 副会長 青木 隆吉 先生

平成二十三年度第三十四回東北六県公共キャンペーン作品展は秋田県が担当で、平成二十三年十月十四日(金)十六日(日)まで秋田駅東西連絡通路「ぼぼろーど」で開催された。審査には、聖霊女子短期大学教授の横山智也氏と私青木が携わった。さすが東北六県の各県の代表作とあってレベルの高い作品三二点が展示され、そのうち八点の入賞作を選出した。

今年のテーマは、「がんばれ日本」の統一テーマである。制作にあたっては、アイデアの段階が最も重要で、作品の優劣がこの段階で殆んど決まってしまう。

最近ではコンピュータによる作品が圧倒的に多く、手描きよりも簡単に短時間で製作出来るようになったが、あくまでもコンピュータは道具として使用し、アイデアを練るのに十分時間をかけ、プロとして優れた作品をこれからも造っていただきたい。

屋外広告は、ストリートに訴えるため出来るだけ余計なものを省き、「シンプルイズベスト」が望ましいと思う。

国土交通大臣賞：東北テント(株)(福島)「心のスイッチは消さない」は、最高賞に相応しく、全体に計算された画面構成である。シンメトリ的なレイアウトが格調高く、スイッチ右側の文字群が多少小さ目であるが大きさに変化があり、小気味いい。

(社)日広連会長賞：(株)ニツタ美術工芸(青森)「がんばれ!日本」は、ハートの女の子の笑顔が印象的。タイトルは斜めに大きく扱い、全体にプロらしいバランスの取れた作品に仕上がっている。

東北地区連会長賞：(株)築館看板(宮城)「心ひとつに 絆 東北」は、なでしこジャパンで活躍した澤選手の迫力あるイラストを画面全体に表し、「絆」を単純明快に表現している。

優秀賞：石松看板工房(秋田)「復興への思い」は、被災した写真バックに、中央には大きくデザイン化した目を配置し、黒目の部分に未来の暮らしを描いた作品。中央の大きな目が印象的だが、睫毛の直線を少しカーブを付け柔らかくしてもよかったのでは。

優秀賞：(有)マルケイ工芸社(山形)「脱原発」は、人物三人ともに手を携え風力発電機を表徴的に扱って脱原発を訴えて、原発に頼らず自然エネルギーで日本を元気にしていくという作品。風車の三枚の羽根を角度を変え動きを表してもよかったのでは。風車と画面下に地球、遠目の家並み、虹のイラストを遠近法で描き、空間が広がり画面を大きく扱っている点よかった。

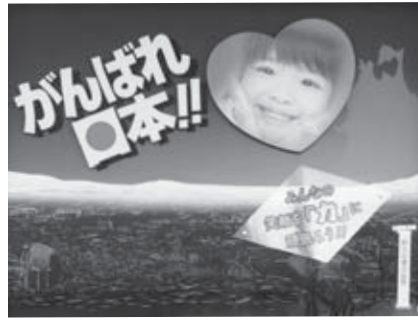
優秀賞：(有)第一美工(岩手)「脱、原発」は、原発以外のエネルギー五つを円グラフ風に表し、自然豊かな日本を取り戻そうとするデザイン。少し素材が多いので整理し、レイアウトに気を配って欲しかった。

優秀賞：(有)コバヤシ広芸(福島)「福島の声を聴け」は、被災にあった福島出身者でなければ描けない作品。様々な生の声を福島県の地図にしたり、子供たちの背中に書いたりしている。文字群が少し多いので絞った方がよかった。

優秀賞：(有)うりた看板(秋田)「ぼくたちの 未来のために」は、親しみのある漫画調に仕上げている。ともすれば登場人物が、従来のものと似たパターンになりがちなので気を付けなければならぬ点である。



第1位 国土交通大臣賞
「心のスイッチは消さない」福島県 東北テント(株)



第2位 (社)日広連会長賞
「(がんばれ!日本)」青森県 (株)ニツタ美術工芸



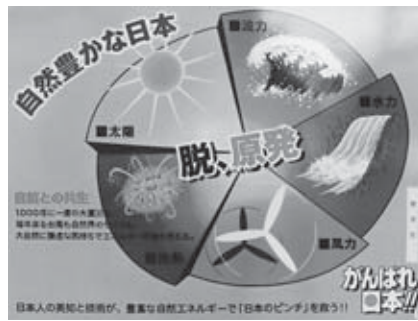
第3位 東北地区連会長賞
「心ひとつに絆 東北」宮城県 (株)築館看板



優秀賞
「復興への思い」秋田県 石松看板工房



優秀賞
「脱原発」山形県 (有)マルケイ工芸社



優秀賞
「脱、原発」岩手県 (有)第一美工



優秀賞
「福島の声を聴け」福島県 (有)コバヤシ広芸



優秀賞
「ぼくたちの未来のために」秋田県 (有)うりた看板

あらゆる塗料で皆様のニーズにお応えします。

営業品目
看板材料・塗料・建材

株式会社 石田商会

代表取締役会長 工藤 暁
代表取締役社長 米澤 健司

本社 / 岩手県盛岡市上堂1丁目19の55
TEL (019) 647-4265(代) FAX (019) 645-2948

水沢営業所 / 岩手県奥州市水沢区東大通3丁目1の27
TEL (0197) 25-6151 FAX (0197) 25-6157

仙台営業所 / 宮城県仙台市若林区卸町東1-9-35
TEL (022) 232-7841 FAX (022) 232-7843

桜井株式会社

仙台支店
〒983-0043 仙台市宮城野区萩野町1-19-1
TEL (022) 237-1820 FAX (022) 237-1823
http://www.sakurai.co.jp

株式会社スター商事

青森営業所
〒030-0955 青森市駒込桐ノ沢22-3
TEL (017) 743-4841 FAX (017) 743-4844

仙台営業所
〒983-0043 仙台市宮城野区萩野町1-19-1
TEL (022) 237-1831 FAX (022) 237-6550

マーキングフィルム Viewcal900・880・560シリーズ
HiLucky・NEWLuckyColorSheet
インクジェットメディア SGJET・LSJET・LLJET
ラミネートフィルム LAGプロテクト・LAGマウント
オリジナル壁紙 WALJET(F☆☆☆☆等級大臣認定番号取得)
高輝度LED Bandilight F-LED(完全防水タイプ)
プリント&カットソフト スターシリーズシステム・カルカット
インクジェットプリンター&カッティングプロッタ

青 森 県



「今ある自分」

青森県屋外広告美術業協同組合

理事長 国分 薫

(青森県 (有)プロスクリーン)

私は七人兄弟の末っ子に生まれ、父は国家公務員で当時は給料も今みたいに恵まれず、長男は大学生、末っ子の私は小学生で大変貧乏しました。だから私は将来絶対公務員だけにはなりたくないと思っていました。ところが私以外兄弟全員公務員になっておりました。

今から三十二年前、私は身重の妻と今の会社を興しました。初めはシルクスクリーン専門で始めましたが仕事も少なく大変苦労しました。そのうち仕事も徐々に増え、開業して六年目で今の場所を購入して、工場、自宅を新築する事ができました。三十六歳で土地を購入し、自宅、工場を持たせた事が夢のようでした。又、三十三歳で青年会議所に入会し、市内の若手経済人を知り、さらに仕事が増えました。まさに今ある自分の基盤になっております。当時はバブルの絶頂期で面白いように仕事が入ってききました。あの当時からなつかしいです。その当時、「プロスクリーンクラブ」という朝野球のチームを作り、十七年間で十五回県大会出場し県内でも有数の強豪チームになっておりました。おかげで会社名も知れ渡り業績も伸びてきたのを覚えております。しかしながらカッティングマシンの出現でスクリーン印刷の危機を感じ、いち早く導入し看板業界に参入しました。その後コンピュータ化に力を注ぎインクジェットも地域に先駆けて導入し今日までできました。今思えばあつという間の三十二年間で、最初の頃は妻が子供を背負いながら手伝い、私は徹夜が何日も続いた日もありました。そのうち従業員を雇うようになり、今では八名にもなりました。この仕事が全くの素人の妻でしたが、今では私以上に注文の電話がかかってくるまであります。本当に感謝しております。高校卒業間際に父を亡くし、やむをえず地元に残らざるをえず、上京をあきらめましたが、翌年上京し大学受験に失敗しました。当時美術の教師をしていた長兄がこれからはシ

ルクスクリーンが商売になるのではとアドバイスを受け、板橋区にある「熊沢印刷工業」に入社しました。当時は東京ではスクリーン印刷が急成長しており、毎日が残業で時には徹夜も何度かありました。仕事の内容は、初心者マークのマグネットシートへの印刷、沖縄返還による羽田空港の時間表の印刷、デパート等への出張印刷、あらゆる経験を短期間でさせてもらいました。当時は冬のボーナスが六ヶ月という時もありました。今では考えられませんが、東京で経験を積み帰省し何年か後に今の会社を興しました。まず地元へ帰ってきてスクリーン印刷を知ってもらおう事から始めました。

各企業・役所・一般商店等営業しましたが、注文がもらえず苦労しました。冬期間はまったく仕事がなく、妻と二人事務所で見合わせる毎日でした。それから三年ぐらいて、地元の大手農機具製造会社の仕事をいただけようになり、冬場の仕事に苦労しなくても済むようになり、とうとうのはその会社は冬場に生産し、春先から販売していただいたので大量のラベルの発注がありました。さらにPL法の施行でさらに仕事量がふえまあり、努力をすればうま

くいくと思いますが、その人の持ち合わせた運もあるのではないのでしょうか。幸いにして私は何度か強運に恵まれました。これも家族、特に妻そして社員、周りにいる友人・知人・親戚の皆様のお陰と感謝しております。私の営業の基盤は青年会議所・ライオンズクラブ等で知り合った友人です。特に青年会議所で知り合った仲間は今でもボランティアも深いお付き合いをさせていただいております。三十二年間ひたすら走り続けてきた私も今年で六十二歳になりました。仕事への食欲はまだありますが、体力・気力が以前より無くなっております。今会社には三男が後継者として居ますが、この春には長男も帰って来る予定になっております。まだまだ老ける年ではありませんが、何か自分の能力の限界を感じ始めました。私は自分の定年を六十五歳と考えております。後は息子達にまかせ、自分は好きなゴルフや旅行をしたいと思っております。又、何かとお世話になった地域に恩返しできれば幸いです。とにもかくも三十二年間、山あり谷有りでしたがここまでやってこれた自分と周りの人たちに感謝したいと思っております。ありがとうございます。

エックスレンタカー
Rent-A-Car

レジャーに、お引越しに、工事作業に至るまで・・・、車のことならなんでも!!

BOXバンから10人乗ワゴン
高所作業車
スカイマスター/スーパーテッキ
マイクロバス

エックスレンタリース北都株式会社
本社 TEL 022-385-6891・六丁の目営業所 / TEL 022-288-3711

| | |
|-------------------------|------------------------|
| 福島営業所 TEL 024-545-7755 | 会津営業所 TEL 0242-33-3711 |
| 郡山営業所 TEL 024-935-3711 | 米沢営業所 TEL 0238-23-4711 |
| いわき営業所 TEL 0246-25-5333 | 山形営業所 TEL 023-624-0151 |

100V LED TACKLE SERIES
direct

好評発売中

TACKLE2 8000K-6000K-2700K
タックル・Ryo 7000K
TACKLE2 8000K

LED投光器 エスポ
永 寿 保

8W 超エコタイプ
専用アーム5種 同時発売

SMART DOT FILM
簡易導光板
スマート ドット フィルム
透明アクリルに貼れば簡単に導光板
自分で作れるから早くて安い

LED企画・開発・販売
ISP 株式会社 アイ・エス・パートナー
AIKOUGEI Group

http://www.is-part.com TEL.03-5917-3680 FAX.03-3974-5595

Windows 7 対応
筆の先生 Pro/ProV
「マルチポップ」「筆の先生」の機能はそのまま継承!

サイン・看板業様向けに26年の長きに渡り、ご愛顧頂いている「マルチポップ」、冠婚葬祭業様・生花業様・ホテル・結婚式場様など、幅広い業界にお使い頂いている「筆の先生」。この二つが統合した その名も!「筆の先生 Pro/ProV」

Windows 7 対応
筆なび デジタルサイネージ システム
「筆の先生 Pro/ProV」で作成したデータもそのまま表示できます。

USBメモリまたは LAN: インターネット
管理側 PC 表示側 PC

USBメモリやネットワークを経由して、離れた場所のデジタルサイネージに配信するシステムです。動画/静止画/テロップ等の映像情報を簡単作成。

〒983-0005 宮城県仙台市宮城野区福室3-16-22-101
TEL 022-254-7128 / FAX 022-254-7138
http://www.nspop.co.jp sendai@nspop.co.jp



「職人として」

秋田県屋外広告美術協同組合
理事、啓発事業委員長 照井 勉
(秋田県 テルイカンバン(有))

ここへ来て書くべき事はこれしかないだろう。まるで自分の下着を恥ずかし気もなく他人の目に晒すような事。それは小さな会社を起し、世の中の景気の動向を正直になぞるように、右肩上がりに浮かれ、菊が付けばどん底を這いずり廻っていた、という極ありふれた超零細企業の顛末の記です。

七年前、しつかり職人として育った働き盛りの従業員二人を解雇した。この経営者、経営者とは名ばかりで、経理には疎く帳簿は妻に、あとは税理士さんに頼っていた根っからの職人である。しかしである、経営の傾きはいくら職人でも支払いの時の妻の不機嫌や、それまでは経営は安定していますと言っていた税理士さんの無言の手あぐらで分かってくる。このままいくと経営が成り立たなくなっていく危機感をようやく肌で感じる事になる。「こんな時こそあなた達を守ってやらなくてはいけないのだが、俺は職人であって経営者ではなかった、ごめんささい」と言って去って頂いた。

例えば、東京で二年半働き「ここは人の住むところではない」という捨て台詞を残して帰郷した。さて戻ってはきたものの仕事はない、そうこうしていたら地元の新報に看板職人募集の広告を見つけた。そういえば小学校三年の時、

図画を先生に誉められて以来ずっと描き続けていたので、直感的にこれだと思った。家からは自転車と電車と徒歩で計一時間半の所だ。高校もその街へ三年通っていたのでなじみの街だ。看板屋という職種は俺の天職だと思った。これ以外には考えられなかった。それは社長の人柄に惚れたせいもあるかもしれない。仕事も面白く、職場に行くのが楽しくてしょうがなかった。足掛け七年働かせて頂いて独立。瞬く間に三十五年が過ぎた。

時折、還暦を過ぎた同級生達と一杯やる時がある。悠々自適で羨ましいと言うと、この歳では働きたくても使ってくれない所がないのだと言つて、かえって羨ましがられた。そうなのだ、俺は手に職を持っている職人なのだ。俺が仕事を辞める時は、二連はしごを持ち上げられなくなった時と決めていた。そうなら、もうはしごの上での仕事だつて無理になつてはいるだろう。しかし、またこうも考える。屋外での広告業は出来なくなっても、作業場の中の仕事ならもう少し出来るような気もする。跡継ぎもなく、ジリ貧になつて行く事は間違いない事ではあるが、今は遠望楽観である。つまり、ここへ

来て開き直つたのだ。暇な時には好きな図画を描けばいいし、仕事がある時には当たり前前に仕

事をすればいいのだ。時折の俺にとっての大きな仕事は、特に取り付けなどは鉄工所のユニツク付きの車で手伝ってもらえばいい。従業員がいたときは、訳の分からない経理と不得意な外回りで見積もりが主な仕事だったけど、今は制作も全て一人でこなす訳だから、職人としての充実感もある。例えばスケールが小さく生まれてよかった。身の丈に合った一人親方の今のやりかたで、もう少し働かせていただきます。夢のような景気の良かった時代も経験させていただいたし、好きな事で飯を食い生きられて来た事に感謝です。

最後に、昨年の震災で被災された皆様、さらには同業の皆様には心から復興のエールを贈ります。



日広連印キャラコ (綿100%)

塗料のノビがよく、滲みがない看板製作に最適なキャラコです。

| 品名 | 巾 × 長さ |
|------------|----------------|
| 日広連印A キャラコ | 92cm × 115m 乱 |
| 日広連印B キャラコ | 92cm × 115m 乱 |
| 日広連印C 天竺 | 115cm × 115m 乱 |
| 日広連印D 天竺 | 137cm × 115m 乱 |

カッティングキャラコ (綿100%) (樹脂コーティング)

マーキングフィルムの貼付はもちろん、水性/油性塗料での手書き・印刷ができます。裏面には撥水処理を施してあるので汚れにくく屋外でもご使用頂けます。

| 品名 | 巾 × 長さ |
|--------------|----------------|
| カッティングキャラコ A | 92cm × 55m 乱巻 |
| カッティングキャラコ D | 137cm × 55m 乱巻 |

ストロングクロス (ポリエステル100%)

水性/油性塗料、スクリーン印刷、マーキングフィルムの貼付にご使用頂ける高級懸垂幕素材です。

従来の綿カツラギと比べ強度も強く、屋内・外でご使用頂けます。

| 品名 | 巾 × 長さ |
|---------------|------------------|
| ストロングクロス E100 | 100cm × 25/50m 巻 |
| ストロングクロス E130 | 130cm × 25/50m 巻 |

インクジェットキャラコ (綿100%)

日広連印キャラコC・Dをインクジェット用にスリッター加工で仕上げてあります。(3インチ紙管)

各プリンターメーカーの新型インクで出力頂けます。

| 品名 | 巾 × 長さ |
|------------------|----------------|
| インクジェットキャラコ 1100 | 110cm × 38m 乱巻 |
| インクジェットキャラコ 1300 | 130cm × 38m 乱巻 |

ご注文は所属の各組合へお願いします

青森県屋外広告美術業協同組合 TEL 0176-20-1811 FAX 0176-20-1812
宮城県屋外広告美術協同組合 TEL 022-257-0437 FAX 022-299-5433
山形県屋外広告美術協同組合 TEL 023-615-3120 FAX 023-615-3125

岩手県屋外広告美術業協同組合 TEL 019-645-3140 FAX 019-643-8909
秋田県屋外広告美術協同組合 TEL 018-823-8458 FAX 018-823-8460
福島県屋外広告美術協同組合 TEL 024-524-0937 FAX 024-524-0938

商品についてのお問い合わせは

株式会社 サンビック
http://www.sunbig.co.jp

☎ 597-0061 大阪府貝塚市浦田179番地
TEL. 072-433-1199 FAX. 072-433-3222

宮 城 県



「職人気質」

宮城県屋外広告美術協同組合

副理事長 石岡幸三

(宮城県 (株)石岡工芸)

私が看板屋になったのは、昭和五十三年です。から、もう三十五年がたちます。当時は書き文字看板が主で、字が書けなければ看板屋と認められない時代でした。現場で文字書き作業中にお客さんから「ペンキ屋さん、お茶どうぞ」と声をかけられても、オレはペンキ屋でなく看板屋だという変なプライドがありました。今思い出すと笑ってしまいますが……ゴシックや明朝は私が書き、楷書・隷書は社長が書くという暗黙のルールがあり、工用看板などの消耗看板は全て社長が楷書で仕上げておりました。社長が留守のとき、明日まで仕上げたいという急な仕事があり、それでは自分が楷書で書こうと、遅くまでかかり何とか仕上げました。翌日、納品しようとトラックに積み込もうとすると、アレ！随分字がまとまっていて、上手く書けている。よく見るとかなりの部分が書き直してあります。社長が朝早く直していたんですね。朝社長と顔を合わせても何も言わない。自分も「直してもらってありがとうございます」とも言えない。この教え方は効きましたね。ポディブローのようにジワジワと。

その後何度かそういう事があり、これでは駄目だと、書道教室に入り一から勉強し直し、九年目に師範の免状を取りました。その頃には、私が書いた楷書も少しは見られるようになり、社長の加筆もほとんどなくなりまし。さあ、これからは、社長のようにな金のとれる字を書くぞ、と意気込んでいた矢先にカッティングマシンなる物が出現しました。それからというもの、

看板業界が一変したのは皆様ご存知の通りです。私が所属している塩釜支部(塩釜市・多賀城市・七ヶ浜町・利府町・松島町)内の看板は、見ただけでこれは〇〇看板さん、これは〇〇工芸さんとかひと目でわかったものです。当時の看板さんは書き文字専門のプロ集団でした。十二年前に亡くなった父(先代の社長)は糸ノコ機械もハンマーものこぎりも、なにも扱えない人でしたが、楷書、行書、隷書を書かせれば、塩釜支部の誰もが認める書き専門の職人でした。今でも市内に数箇所先代

い看板屋さん達は、パソコンも、高所作業も、塗装も出来るし、穴掘り、コンクリート基礎工事も溶接もフィルムも貼れる。これはすごい事です。デザインであり、大工であり、土建屋さんであり、内装屋さんでもある。つまり、なんでもできる職人のかたまりなのです。私の友人の看板屋さんは、津波で母親と自宅と作業場を失いました。現在は仮設住宅から、屋根屋さんに毎日アルバイトにいつています。雇い主曰く、看板屋さんはつぶしがきくね。板金作業は一週間も教えたらすぐ覚えたり、高いところも平気だし、大工もできると……そうです。現代の看板屋さんはオールマイティな、職人です。時代は変わっても看板職人はここにありです。

先日、久しぶりに書き文字の注文が入りました。さあ書くぞと意気込んで筆を出したらガサガサで、塗料は固まって使い物にならず。看板職人を気取っていた私本人が職人失格でした。

看板資材 卸販売
プラスチック各種

上記の事ならなんでも気軽に御相談下さい。

東北藤光 株式会社

仙台市宮城野区福田町南一丁目2-46
TEL (022) 254-0611
FAX (022) 254-0608

屋外広告 元気な街の応援団

優秀な看板作成技術の事業所で組織している団体です。私共は雇用環境の改善にも注力しております。看板は信頼ある当組合加入の事業所へ。

中小企業人材確保推進事業認定団体

宮城県屋外広告美術協同組合

仙台市宮城野区原町三丁目4-10
理事長 阿部 泰彦
TEL 022-257-0437 FAX 022-299-5433

高所作業車各種・車輛・発電機から
汎用機・特種建設機械の総合レンタル

会員カード

電話予約1本で24時間365日
車輛の貸し出し・返却ができる
レンタカー型カーシェアリングを
行っています!

※仙台中央モビステーションにて
(仙台東インターそば)

西尾レントオール株式会社
東北営業部 <http://www.nishio-rent.co.jp/>

| | |
|-----------------------------|------------------|
| 仙台営業所 / 仙台市泉区泉ヶ丘1-12-3 | TEL.022-373-5555 |
| 古川機械ヤード / 大崎市古川稲葉字前田63-1 | TEL.0229-23-3235 |
| 仙台中央営業所 / 仙台市若林区卸町東5-7-1 | TEL.022-288-3240 |
| 仙台南営業所 / 名取市植松字田野部57-1 | TEL.022-382-5661 |
| 柴田機械ヤード / 柴田郡柴田町大字船迫字川前55-1 | TEL.022-382-5661 |
| 石巻営業所 / 石巻市鹿又字蓬菜42-1 | TEL.0225-86-5240 |

上記以外、岩手県・山形県・福島県にも営業所があります。

山 形 県



「上杉鷹山公に学ぶ」

山形県屋外広告美術協同組合
青年部長 服部 正
(山形県 (有)山形商美社)

東北地区連のみなさま、「今年もよろしくお願
い致します。」ただ、昨年三・一一の東日本大震
災で甚大な被害を、特に東北地区の太平洋沿岸
または近郊地区に關しましては、通常の新年と
違い「おめでとう」等と言えるような状況では
無いと思えます。只々、一日も早い復興を願う
ばかりでございます。

山形県の青年部部長を仰せつかり、今年で三
年目になります。この大役が私の力不足もあり
なかなかうまく進みません。昨年も特に大きな
事が無いまま終わっておりです。サインフォー
ラム東北の方々、何か良い知恵がありましたら
是非お教え下さい。

さて、主題にあります、「上杉鷹山公に学ぶ」で
すが、他団体で購入しました一冊の本があり
ました。通常、興味のある題材の本や、ベスト
セラー、雑誌等はよく手にしますが、歴史関連
には疎く鷹山の事も詳しくは知りませんでした。
上杉鷹山公はこの山形の地(厳密には出羽国
なので山形県と秋田県相当ですが)米沢藩九代
目藩主であります。現在の米沢の名産である笹
野一刀彫(御鷹ぼっぼ)はその象徴と言われて
いるようです。半強制的に購入させられた本で
すので興味がなくとも「もつたいない」と一生
懸命読みました。食わず嫌いとは良く言ったも
ので読んで見ると、とても参考になるしたため
なる、そして面白い!これからの青年部や組合



活動、それ以前に自社に置き換えて考えると、
これから何をしなければいけないかが少し見え
てきました。

現在、組合や青年部以前に自社の存在すら先
行きが見えない状況が続いており、頼りのはず
の政治も消費増税等をはじめ沢山の問題が山積
みです。本来組合とは、健全な経営をしている
同業者が非営利の相互扶助組織を組み連帯経済
の主要な担い手になる訳ですが、現在の経済状
況では自社の健全な経営が成り立たず「今年こ
そは」ともがいている状況が多く乱暴な言い回
しですが、「儲かっている」会社が多くはない状
況(自社も例外に漏れず)だと思えます。この
ような状況で非営利な組合に一生懸命になれる
はずはありません。これから景気回復などのぞ
めるはずもありませんので、ますます活動など
に力が入りません。こんな時代だから「上杉鷹
山に学ぶ」のだと思えます。そう「質素儉約」
と「先見の明」です。詳しい話を書けるほど知
識もございませんので簡単に、初代上杉景勝は
会津の地で一二〇万石という広大な領地と、酒
田港や佐渡金山を持ち経済力はとても充実して
いました。しかし一六〇〇年に徳川家に対抗し
会津一二〇万石から、米沢三〇万石に減封、さ
らに最上や伊達と対立していた為、家臣等を減
員せず一二〇万石規模の六〇〇〇〇人を抱えたま
ま三〇万石から始まります。それでも、直江兼
続等の智将がやりくりをして余裕はないが健全
な経常収支が実現してありました。ところが三
代綱勝が急死、綱憲が四代目となりますがその
頃幕府より半分の十五万石に減封されます。(諸
説あるようですが...)それでも生活は派手で藩
はずぐに財政難になります。その後も八代藩主
重定まで特別な政策も無く、いわゆる借金生活
をしておりました。そんな中、重定の養子の上
杉鷹山は十七歳で九代目藩主になります。鷹山
は有名な「大儉約令」等でこの難局を乗り越え

ます。江戸仕切料(江戸での生活費)一五〇〇
両を二〇〇両に減額し、奥女中を五〇人から九
人に減らすなどの儉約を行いました。そのため
幕臣への運動費が捻出できず、その結果に江戸
城西丸の普請手伝いを命じられ、多額の出費が
生じて再生は遅れます。天明の飢饉で東北地方
を中心に餓死者が多発していましたが、非常食
の普及(先見の明です。)や藩士・農民へ儉約の
奨励など対策に努め、自らも粥を食して儉約を
行います。また、学問をとっても重要と考え閉鎖
された学問所の藩校、興讓館(現山形県立米沢
興讓館高等学校)再興させ、藩士・農民など身
分を問わず学問を学ばせました。これらの施策
と裁決で破綻寸前の藩財政は立ち直り、次々代
の斉定は借債を完済できました。

ここまでで考えると鷹山が藩主になる前まで
の米沢藩は、まるで現代社会と一緒です。私達
日本人の生活水準が世界的に豊かでお金の使い
方も贅沢なのでしょう。最近「エコ」や「無駄
の節約」が少々広がつてきておりますが、寒け
れば暖をとる、暑ければ涼を求め、少しの距離
でも自動車をを使い、(自分もそうですが...)省エ
ネの浸透はまだまだしてはおりません。勿論儉
約だけが良い訳では無く、商品の流通を考えれ
ばサイフの紐は少しゆるめて頂いた方が良いの
ですが、「儉約」は大事です。自分も、何を儉約
するのか解らずにいます。只、「上杉鷹山の訓
え」で考えると本当の「無駄づかい」の正体は「私
生活」なのかもしれません。つまらない世間体
や便利さを主張して生きている現代社会の根底に質
素儉約のメスを入れなければ本質が変わらない
のではと考えさせられました。(難しいですね。)
「質素儉約」で自社のバランスをはかり、「先
見の明」で組合やその他団体による勉強!この
二軸で不景気を乗り切れればと考えております。
上杉鷹山の名言で「なせば為る 成さねば為
らぬ 何事も、成らぬは人のなさぬなりけり。」
【やろうと思えば何でもできます。できないのは
やろうと思わないからです。やろうとすること
は他人のためではなく、自分のためになるのだ
す。】(こんな感じですかね。)を良く考えこれか
らの活動に生かして行きたいと思えます。

追伸、現在も原発問題や震災復興が東北のい
や、日本の重点課題ですし、政治的問題も現在
の日本は沢山かかえております。上杉鷹山公な
らこの困難をどのように乗り越えるのでしょうか。
今一度現代人に教えていただきたいものです。

大型出力・ターボリン・メッシュシート・FF・・・その他なんでもOKです

出力お手伝い致します

弊社では、溶剤・UV・ルーターカットサービスから施工までお手伝い致します

二翼体制で
相互補完を
実現

広大な工場が
生み出す
余裕

価格

顧客満足度と
信頼性の高さ

品質

納期

システムの
最適化とスキル

株式会社 **原町サイン**

●本社 福島県南相馬市原町区北原字掛場56-1
Tel.0244-23-5727 fax.0244-24-4835
harasign@agate.plala.or.jp

●東京工場 東京都江戸川区中央4-15-13
Tel.03-5678-1570 fax.03-5678-1571
harasigntokyo@cool.email.ne.jp

Tel.0244-23-5727

http://www14.plala.or.jp/harasign

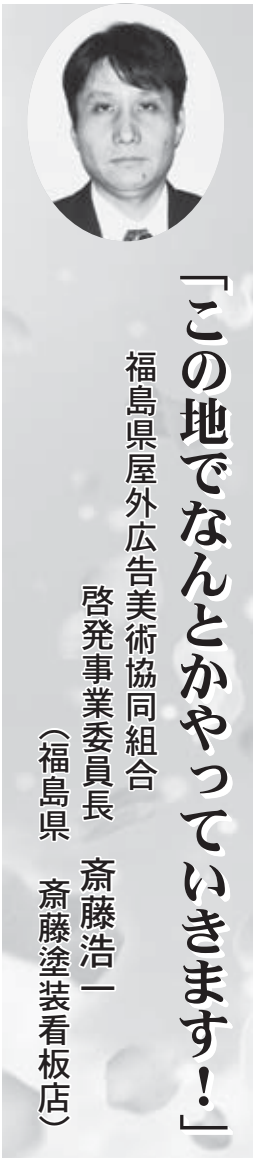
Scotchcal Film
Scotchprint Graphics
Scotchcal Graphics Material
Panagraphics
DI-NOC Film
Scotch-Tint
VHB tape
LED

住友スリーエム株式会社
特約加工代理店

株式会社丸和商会

宇都宮市瑞穂 3-5-14
TEL 028-656-3611
東京・高崎・郡山
仙台・秋田・青森

福島県



「この地でなんとかやっていきます!」

福島県屋外広告美術協同組合

啓発事業委員長 齋藤浩一

(福島県 齋藤塗装看板店)

平成二十三年三月十一日のその時、私は福島県の葛尾村(現在は立入り制限地域)におりました。村内にあった幾つかの案内看板の表示変え工事を請け負った仕事仲間の手伝いをしていました。現場から現場への移動中の車内での揺れを感じたのでした。はじめは運転をしていた同乗者の携帯の緊急地震情報があり、その持ち主でさえも初めて聞くその警報音に思わず車を止め、画面を見れば「東北地方に強い揺れ」という情報。半信半疑で停車し、たままじらなく揺れと誰かが恐怖を感じた程の激震を数分にわたり体験したのでした。車のラジオをつければ各地の震度などを繰り返して知らせているアナウンスの声は必死で冷静な行動を呼びかけている。これはただ事ではないと感じずにはいらませんでした。我に返って家族に携帯で連絡を取ろうとしましたが案の定、繋がりがありません。同乗者のほかの者も何度やっても全く繋がらず、車の外を見回しましたが、ちやうど山あいの田畑に囲まれた田舎道で付近に人影も民家もない場所での状況が掴みません。まずはその日、他の現場で作業をしていた者の安否を確認しようとする。現場へ向かいました。そう高くはないものの仮設の足場での作業をしていたはずなので怪我をしてはいまいかと心配しながら向かう途中、道路の地割れや民家の屋根瓦の崩壊の有様や外に出て避難している人の姿を目にした。ラジオからは津波の情報も聞く度、不安は増すばかり。最初は数メートルであつた津波の情報は、数分後には十数メートルに及ぶ高い波が到達するとの予想。まさかそんな波が本当に来るのかと信じられない思いで車を走らせ、その現場の者達と合流。幸い皆怪我は無く相談の結果、作業を中止して地元へ帰る事に。地元の家は津波はどうした? 募る思いを焦りながら途中渋滞や通れなくなった道を迂回などしながら通常の倍近くかけてようやく南相馬市の元請の会社に到着。即解散して各自自宅へと向かった。同市内の自分の自宅はというと、地震の時に居た家族も、学校に居た子供達も既に家に帰って来て全員無事で、安心はしたものの、店舗も兼ねた家の中は倒れた家具や散らした物で惨たんたる有様でした。家の中の片付けと同時に思いつく親類や知人の安否確認をなかなか繋がらない電話をかけたまま地震第一日目の夜を迎えたのでした。

と...: なんとか冷蔵庫の中のあり合わせで避難の為に家を離れた十五日まではなんとか食事もとれました。電気が使えたのもつばらテレビで情報収集。各地の地震の被害より津波の被害の甚大さに驚きの連続でした。私の住む南相馬市は太平洋に面してありますが市街地までは津波は到達せず、大きな混乱は無かつたものの海岸線近くに住む知人もあり、暫くは安否も判らない日々が続きました。当時の報道の混乱ぶりやご存知の通り、ましてや地元の被害状況など全知するの知らずとも危険な状態なのだろうと、海岸方面にはとても行く気にはなれませんでした。十一日の夜半頃から徐々に多くなる原発の事故の報道。この地方に住む者に植え付けられた原発の安全神話の為か当初はなんとかなるんだらうと夕夕をくくつていました。どんな状況は悪くなる一方同心円状に広がっていく避難指示の範囲に徐々に異なる恐怖感を感じ始める次第。とうとう私の住む南相馬市原町区は屋内退避の地区。ここにいても大丈夫なのか、避難したほうが良いのかはつきりしない政府の発表にヤキモキしながらこのあまり外にも出られない状態であった何日経過せばいいの?: 近所の家もいくつかが避難して行く中、我が家も早めに行動しておいた方がよいのではと家族会議の結果、とりあえずここよりはいない妻の実家のいる相馬市へ自主避難すること。車に積めるだけの衣服や貴重品などを携えて十五日の昼頃には自宅を離れたのでした。

妻の実家での避難生活はというと、そこ相馬市も被災地であることには変わりなく、食料とガソリンの確保に翻弄される毎日、スーパーやガソリンスタンドの行列に何度も参加。物資の流通が滞るとこんなにも生活が困難になるものかと、改めて物の有難さを感じる経験もなされました。また、自らの危険もかえりみず救助や復旧の為に全国各地からぞくぞくとやってきた沢山の自衛隊員や警察官、消防隊、ボランティアの姿やその車両を目にする毎日は大変な難く、また勇気づけられる日々でした。避難して身ではあるものの自分も何かしなければならぬかと思いついた。ポランテアセンターを訪ねようかと思いましたが、毎日のように続く強い地震と津波が再び来るのではという恐怖から不安を隠せない子供達の顔を見るだけに家族から極力離れないでいたほうがよいのではとも思いつき、結局何も出来なかった事は申し訳ないやら情けないやら複雑な気持ちの連続でもありました。そうこうしながらあつと言う間に避難生活もひと月を過ぎ、家族はいつまで続くか判らないこの状況に不安と疲労そしてストレスが増すばかり、私達に押しかけられても最初は「いつまでいても大丈夫。」と言ってくれていた妻の両親も気遣いで日に日に疲労は隠しきれない様子。子供達も「もう帰りたい!」とちらほら言い出す始末。放射能の影響を考えればまだ帰らない方がよいはず。集団で体育館などの避難施設に居る人達に比べればずっと恵まれてるのだからもう少し我慢しなさい。」と説得しても納得しきれない。普通ならもう新学期が始まっている時期でもある。ここ相馬市で避難先就学の手続きをするべきか。そんな中、留守にしている自宅近辺では空き巣が出ていたとの報道も。そのまま違う学校に行かされるのかと、家が荒らされてしまうかもとの不安で中学生の娘が泣き止まなくなつたのを期に自宅に帰る選択も。一時はほとんど人がいなくなつた原町区も徐々に戻ってきているとの情報もあり。また四月下旬には屋内退避区域から緊急時避難準備区域になるとの発表や学校も五月には再開するとの連絡があり。まだまだ不安ではあるけれど、「なんとかなるでしょ。」と四月の二十日頃、たつたと記憶してます。が軟弱なわが家天思考一家は僅か一月月ちよつと避難生活をギブアップして自宅へと帰つてしまつたのでした。この選択は正解だったのか、それとも後悔することになるのか...:

秋田県屋外広告美術協同組合賛助会員

- 株式会社アサヒヤ塗料
秋田市仁井田路見町6-21 TEL.018-839-2664
- 三和塗料販売株式会社
秋田市川尻町字大川反170-40 TEL.018-863-8711
- 中村塗料販売株式会社
秋田市寺内蛭根85-25 TEL.018-863-2005
- 株式会社丸和商会
秋田市東通6丁目9-4グランデール東通101号 TEL.018-874-8731
- (株)システムアート秋田
秋田市外旭川字田中43-3 TEL.018-864-7514



クオリティをかたちに。

各種看板・屋内外サイン・ネオンサイン・一級建築士事務所
株式会社/クリエイティブ ダイワ
福島県郡山市田村町金屋字下夕川原6番地 〒963-0725
■TEL(024)944-0088(代) ■FAX(024)944-0066

岩 手 県



「被災地域組合員の声」

岩手県屋外広告美術業協同組合

理事 倉本正勝

(岩手県 大槌町 (有)クラモト塗装工芸)

考えられない、想像できない悪夢にとりつかれた思い——。私は震災間もなくひと思いに、この世を去ってしまった良かつたと思つた。

何よりも悔しいと思つたのは、資料の数々だ。長期に亘つてコツコツファイルしたものが流され、お金に換えられない何十年もかけて収集したものが無くなつたのが残念で堪えられない。

生きて良かった、生きただけでもいい、災害後それが禁句とも言われていた。生きたものの、これからどうしたらいいか——。

水も電気の灯りもなく、寒く、毛布・シーツで足元をくるみ、コタツに皆で体を寄せ合つて入り、ローソクの灯りを見つとまるでクリスマスをしていくようにだと不安の中にも笑つたりもした。風呂は勿論入れず、沢からチョロチョロ流れてくる水を溜めて一滴の水でもこぼさないように幾度となく運んだものか。何でもあの時はもつたに感した。

久しく耐える力を養つた戦後生まれの私にすれば、良き体験をさせられたものの、もう二度とあつてもらいたくない、そんな思っている。その当日は隣接の遠野市の上郷町を走行中で、今だ経験したことのない大揺れに只事ではなく目の上の電柱の線が切れるかと思つた。間もなくパトカーが新仙人道路入口をストップ。釜石寄りの橋も崩落しそうだとの情報。もう自分の頭も混乱状態で、とにかくいち早く家にたどり着きたい。皆どうなつていいるものか……。

数人の方達と相談し旧仙人道路路に向かつた。あたりは小石が散乱し、何とか通行したが、釜石市に入るや、町はパニック状態で大惨事だ。車も走れないとんでもない状況だ。私は町の上流の河川を見に行つた。かすかにトボトボと波が押し寄せて、チヨウザメの子等が河岸にパタパタしていた。この程度なのか津波つて……、それが何と一大事となつていいるとは思つてもい

なかつた。行けない——、むしろ歩いたら道に迷うし、明るくなるのを待つて早朝出よう。その夜は親しくさせていただいていいる工務店で一夜、車のエンジンをかけて寝ることなく明かした。明るくなつた、出よう——。町はもう大変な姿だ。この時に活動すべく救急車・消防車が数台重なりその廻りは材木、何なのか様々覆いかぶさつていいる。でも行きたい、早く家にと——。どこを歩いたら良いのか、やつと市内の高い所の寺に避難の人達がいつぱい暗い顔で疲れ果てていた。やつと助かつた、後ろまで波が来てやつとの思いでここに来たと話していた。その姿が憐れに感じた——。

なかつた。

行けない——、むしろ歩いたら道に迷うし、明るくなるのを待つて早朝出よう。その夜は親しくさせていただいていいる工務店で一夜、車のエンジンをかけて寝ることなく明かした。明るくなつた、出よう——。町はもう大変な姿だ。この時に活動すべく救急車・消防車が数台重なりその廻りは材木、何なのか様々覆いかぶさつていいる。でも行きたい、早く家にと——。どこを歩いたら良いのか、やつと市内の高い所の寺に避難の人達がいつぱい暗い顔で疲れ果てていた。やつと助かつた、後ろまで波が来てやつとの思いでここに来たと話していた。その姿が憐れに感じた——。

とにかく家は、店はどうなつていいるか、店舗は海の近くのでもう諦めてはいたが、家だけはあつてもらいたい……。人達はどうなつていいるか、社員はどうか……、道はふさがり、どこが道路なのか……、上つては下りの鉄道のケタも流されていいる。長靴はあつたので履いたが、内側の踵の布が切れそれが足を摺り、痛く、見たら血がにじみ出ていた。痛い——。でも我慢し歩き続けた。腹は減り、でも早く着きたい——。どの人達も安否を心配し、ひたすら歩いてきた。疲れた顔をしていた。あそこもこうなつたのか……、ここもこんなに……、火災が未だ続き、あちこちから煙が見えた。

その凄まじさを見ながら着いたのは昼近くだった。家族の生存を確認、社員の無事も解つた時にはホツとした。人であればこのヤローと言いたいところだ。まさか千年に一度の災いが私共の生きていいる時に、こんな大きな事になるとは思わなかつた。亡くなつた人々のほとんどは、津波は来ない、ここまでは来ない、家が建て並んでいるので高低の意識がなく、中には茶飲みをしてい

たとも聞いている。この震災が原因とは言えないが、元氣だつた父が食もなくなり急変し亡くなつてしまつた。刻一刻日立ちしていくにつれ、この思いは忘れたくない、忘れてもいたくない——。仕事帰り遠野市から釜石へと駅から東方向に向かうと、線引きをしたかのように町の姿が全く異なる。これを再建できるのか、市内を過ぎ郊外も然り、隣町の大槌ももの凄くやられて荒れていいる。釜石・大槌はどうなつていくのか——。

今はどの場所に企業・商業地・住宅ができるのかわからない。先日は自衛隊の方々も撤退した。本当にご苦労様と思つていいる。夏は今も気候も良く暖かで少しは心にも温もりがあるが、秋から冬にかけて寂しさが増すのではと想像する。町はいつ復興できるか、何年、何十年かかるのか……。国は原発の補償をどうするのか——。先日も新潟での大雨の災害……、そうでなくても大変な国だ。果たして援助・救済はいつまで続くのか心配だ。災害で人口の流出も著しく、荒れ果てた町——。

もう沢山だこんな事。今、どこへ行つても「ガンバロー」の言葉が散乱していいるが、本気でそう思つていいるのかと思つところの人々も見受けられる。今変わらないうとどうすると言いたいほどだ。私は津波を見ずに過ぎた時、「見たかつた、そうしたらもつと脳裏に刻ませただろう」と複雑な思っている。



日広連・賠償共済のおすすめ

第一賠償プラチナ 屋外広告物+建設工事を補償するワイド版

第一賠償ゴールド 塗装・熔接事故も支払い対象。さらに、作業している壁面、ガラス等も対象。保険金は対人5億円、対物5,000万円。今、おすすめです。

第一賠償シルバー 低コストで必要な補償をカバーできる新商品

賠償第二動産総合 施主の保険=第二。看板本体の保険=動産総合。物件ごとの加入が出来ます。

社団法人全日本屋外広告業団体連合会

引き受け保険会社 東京海上日動火災保険株式会社 代理店・有限会社アールエージェンシー

編集後記

多難な年であつた二〇一一年。言つてもなく、東日本大震災と福島原発事故という未曾有の複合災害。そして「自粛」というマイナス的な流れ。

被災された皆さま、特に福島県の方々には心からお見舞い申し上げます。

日本は四つものプレートがぶつかる地震地帯にあり、百年から数百年ごとに必ず巨大地震、大津波が起きていることがわかつていいるのに原発を五十四基も建ててしまつたことはまさに愚の骨頂。日本の舵取りがうまくいってない証拠だらう。

それでも私たちはこの舵取りがへたな日本という国で生き抜いて行かなくてはなりません！

力を合わせ、思いやりの気持ちを絶やさずに「頑張ろう東北の看板屋！」